

バレーボール 部 安全対策表

以下の表は、各項目に対する安全対策および事故発生時の対応をまとめたものである。本クラブ所属部員は、必ず安全対策を実施し、事故等が発生しないように注意する。また、万一、事故が発生した場合には、表に示されたように正しい対応をしなければならない。

項目	安全対策	事故発生時の対応
緊急連絡体制の管理	① 緊急連絡網を作成し、練習中及び試合などにおいて必ず所定の位置に配置するか、または顧問教員及び部長又はマネージャーが持参すること。	顧問教員及びクラブ部員は、事故発生時においてケガ人の処置をした後、緊急連絡先に連絡すること。
部員の健康管理	① 練習前に必ず自分の体調を把握し、体調の思わしくない時は、活動を行わないようにする。 ② 練習中において急に体調が悪くなる場合があるので、必ず複数で練習し、常に相互に確認すること。 ③ 練習が終了して、練習場所を出る時も必ず複数で行動すること。練習場所に一人で残ることがないようにする。また、帰宅時なるべく複数で行動すること。	人命第一を考え、状況を的確に判断、救急車の手配をする。また、直ちに顧問教員あるいは看護師（又は学生係）に連絡をする。
練習中における安全管理	① ネット設置の際、きつくはりすぎていないか、ひもはきちんと縛ってあるか、支柱にはカバーが巻き付けられているか、アンテナはきちんと固定されているか確認する。 ② 中央に緑のネットを張り、他の部活が練習しているところにボールが入らないようにする。万一入ってしまった場合、大声でボールが入ったことを知らせ、ボールによる事故が起きないようにする。 ③ ポールなど重量のある器具を移動させる際は、慎重に移動させる。無理や無茶はしない。 ④ 各器具の高さを調整する際は、調整後外部からの力を受けて動くことがないかどうか確認し、安全が確認できてから使用する。 ⑤ 汗をかいた状態で床に飛び込むと汗が床について大変滑りやすくなるので、すぐにモップやぞうきんで汗を拭き取る。	状況を的確に判断し、直ちに顧問教員に連絡する。

項目	安全対策	事故発生時の対応
試合における安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ① 試合前に救急箱の中をチェックし、必要なものがそろっているか点検すること。 ② 試合会場への移動は、必ず公共交通機関を使用して行うこと。また、事情により顧問教員が引率できない場合は責任者を決め、万が一の時には顧問教員と連絡が取れる体制を取るようしておく。 ③ 試合は、特別な場合を除き顧問教員の付き添いなしに行ってはいけない。 	<p>必要なものがない場合は必ず補充する。</p> <p>試合会場への移動計画をあらかじめ顧問教員へ連絡し、万が一の場合の対応について確認しておく。</p>
練習場所等の施設の安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ① 第2体育館の中央のネットの破損や、壁から釘が出るなどの不具合が確認されたら速やかに学校に修理を依頼する。 ② 体育館の床は滑りやすいので、練習前のモップがけは必ず行う。 ③ 倉庫内を常に整頓された状態に保つ。集会などの後は、学校の人により倉庫内に物が乱雑に詰め込まれるので、動かせる状態になったら速やかに整頓を行う。 	<p>状況を的確に判断し、直ちに顧問教員に連絡する。</p>
外部（応援者を含む）の安全対策 * 対応クラブのみ	<ul style="list-style-type: none"> ① 外部コーチも部員と同じように、練習に対する意識をもってもらう。また、しっかりと準備運動を行なった上で練習指導に当たって頂く。 ② 部員は、大きく飛んだボールを処理する際などに、外部の人にぶつかるなどしてけがを負わずことのないよう気を付ける。 	<p>状況を的確に判断し、直ちに顧問教員に連絡する。</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> ① 部長及びマネージャーは、クラブ活動日程・練習内容を事前に顧問教員に連絡すること。 ② 事故時には全員で応急体制に当たること。 ③ 部員及びマネージャーは、救命救急法に関する知識を身につけておくこと。 ④ 事故時の連絡体制のため、学生の緊急連絡先を常備しておくこと。 	<p>状況を的確に判断し、直ちに顧問教員に連絡する。</p>

新型コロナウイルス感染症対策

1. 共通の対策

- 活動前に検温を行い、発熱がある場合（体温が 37.5℃以上である場合、または平熱より 1℃以上高い場合）は活動に参加できない。発熱がなくても咳など風邪の様な症状がある場合、倦怠感がある場合、息苦しさなどがある場合、嗅覚異常など身体に異常を感じる場合、その他少しでも体調が優れないときも活動に参加できない。
 - ※ 練習参加者や体調管理の記録については Forms に様式を用意する
- 熱中症の心配のない活動や運動を伴わない活動においては、活動時にマスクを着用する。マスクを着用しない場合は、近距離での会話を控える（近距離での大声は徹底的に避ける）。
- 石けんを用いた手洗いやアルコール等の消毒用品を使用して、手指消毒を行う。
- 人との間隔をできるだけ 2 m（最低 1 m）空けるように努める。
- 使用する用具等については使用前に消毒を行うとともに、不必要な使い回しをしない。
- マスク、タオル、給水ボトル（飲料）などは自分専用のものを用意し、共用しない。
- 体育館など屋内で実施する活動については、その場所のドアを広く開け、こまめな換気を行う。ドアノブなど、学生が頻繁に触れる箇所は担当者を決め、定期的に消毒を行う。
 - ※ 各回の練習参加者から選出し、消毒の実施状況を Forms にて報告する
- 部室や倉庫はなるべく短時間の利用とする。部室が活動場所となるクラブ・同好会は、人数に応じて教室の使用なども検討する。

2. 個別の活動内容にあわせた対策

- ポールやネット、およびボールなど練習で使用する器具は、練習の開始前と終了後にアルコール等の消毒用品を使用して消毒する
- 第二体育館内のトイレおよび外にある水道で水分補給しない。
- 体育館のトイレで運動着に着替える場合は密にならないように 1 人ずつ着替えをする。
- 身体接触する 2 人組のストレッチ等はできるだけ行わない。

<バレーボール協会コロナ対策資料（[covid19_guide_JVA2020.pdf](#)）を参考にして追加>

【練習前の準備】

- 石鹸による手指の洗浄にあわせて、こまめなアルコール消毒を実施する
- 練習中も含め、日頃から目鼻口を触れないよう心がける

【練習場の衛生環境】

- 練習やトレーニングで使用するタオルや飲料は個人で管理する
- 体育館は十分な換気を行う。練習中は遮光の関係で暗幕を閉じる必要があるが、定期的に窓やドアを開放して外気を取り入れる等の換気を行う

【用具、床の衛生処理】

- ボールは複数個用意し、こまめに消毒・清掃を行って交換しなら使用する。その際、アルコール液を使用して除菌し、除菌後には変色や表皮が剥がれないように布を使って軽く表面を拭く程度にとどめ、その後十分に乾燥させる
- 床については、アルコール液を用い定期的に除菌を行い、傷まないように除菌後にはきちんと拭き取る
- 審判台、スコアボード、ネット、モップなどの使用する用具は、定期的（練習の開始前、練習中、終了後に）に除菌する
- 出入口のドアノブなど共有して触れる箇所についても定期的（練習の開始前、練習中、終了後に）に除菌する

バレーボール 部 安全点検リスト

一般的事項

- 救急箱は用意してあるか
- 緊急連絡網は用意してあるか
- 部員の体調を確認したか
- 準備運動はしっかりと行われたか
- 活動をするのにふさわしい服装をしているか
- 外部の人の安全管理に気を配っているか
- 事故発生時の対応のしかたをきちんと把握できているか

施設・用具関係

【練習前】

- 練習前に使用する施設の安全確認を行ったか
- 練習場所はしっかりと整備された状態で練習が開始できるか
- 使用する道具の破損等がないことを確認したか
- ボールの空気圧は適正か
- ネットは適切な強さで張られているか
- アンテナは固定できているか
- 支柱にカバーが巻かれているか
- 荷物はきちんと整頓され、プレーの邪魔にならないように置かれているか
- [片面を使用する場合]中央に緑のネットは張られているか
- ポール等の使用器具の除菌を行ったか
- 窓やドアを開けるなどの換気対策を行ったか

【練習後】

- 練習後には、除菌した後に使用器具を片付けたか
- ボールは除菌すると共に、収納する箱は施錠したか
- 出入口のドアノブなど共有して触れる箇所の除菌を行ったか
- 施設の施錠を確認したか

緊急連絡先

- ・ 顧問教員：大庭 055-926-5837、小田 055-926-5773、
小林美恵子 055-920-3712
- ・ 学生係：055-926-5734
- ・ 保健室：055-926-5729
- ・ 学生主事：055-926-5768

- ・ 施設、道具類に破損等がある場合には、顧問教員に報告するとともに、その使用を禁止し、それに関わる練習を行わない。また、施設に関しては、学生係にも連絡すること。